

臨床研究

「難治性心室性不整脈に対する、脊髄神経系への介入による交感神経抑制について」について

筑波大学附属病院循環器内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

本研究の目的は、当院で難治性の心室性不整脈の症例に対して実際に心臓交感神経節切除、局所麻酔による星状神経節ブロック、星状神経節光照射等の方法を用いて交感神経抑制を行った症例を対象として、同治療の有効性や合併症、また症例ごとの転帰を明らかにすることです。同治療を実臨床で行った症例の報告はこれまでに多くないため、当院での症例の経過を報告することは今後の同治療の方向性を検討する上で必要であると考えられます。

② 研究対象者

2019年1月から2022年5月に、当院で難治性心室性不整脈に対して交感神経抑制作用を目的とした脊髄神経系への介入による治療を受けた患者様。

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2025年12月31日まで

④ 研究の方法

実際に受けた治療法や、治療の心室性不整脈への有効性、また安全性について検討します。

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

診療記録（身長、体重、性別、内服内容、治療の内容、治療後の心室性不整脈の再発の有無）、検査データ（採血検査、十二誘導心電図、心臓超音波検査）等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

他の機関へ情報や試料が提供されることはありません。

⑥ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学附属病院 循環器内科 教授 野上昭彦

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：循環器内科 担当 小田優香

循環器内科医局 電話 0298533143(平日 9～17時)